

記入例 妻から夫に対して離婚の調停を求める場合

申立書を提出する裁判所
作成年月日

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印		夫婦関係等調整調停申立書 事件名 (離婚)	
(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)			
収入印紙 円		印紙	
予納郵便切手 円		(貼った印紙に押印しないでください。)	

<input checked="" type="radio"/> 家庭裁判所	申立人	甲野 花子 (印)
令和〇〇年〇月〇〇日	(又は法定代理人など)の記名押印	

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	準口頭
<input checked="" type="checkbox"/> 戸籍謄本(全部事項証明書) (内縁関係に関する申立ての場合は不要)		
<input checked="" type="checkbox"/> (年金分割の申立てが含まれている場合) 年金分割のための情報通知書		
<input type="checkbox"/>		

申立人	本籍(国)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
	住所	〇〇都道府県 〇〇市〇〇町〇番地	
相手方	本籍(国)	(内縁関係に関する申立ての場合は、記入する必要はありません。)	
	住所	〇〇都道府県 〇〇市〇〇町〇番地 〇〇アパート〇号室	
対象となる子	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成〇〇年〇〇月〇〇日生
	フリガナ氏名		(〇 歳)
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input type="checkbox"/> 相手方と同居	平成〇〇年〇〇月〇〇日生
	フリガナ氏名		(〇 歳)
相手方	住所	<input type="checkbox"/> 申立人と同居 / <input checked="" type="checkbox"/> 相手方と同居	平成 年 月 日生
	フリガナ氏名		(歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。対象となる子は、付随申立ての(1)、(2)又は(3)を選択したときのみ記入してください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。

夫婦 (1/2)

情報通知書に記載されている住所を相手方に知られたくない事情がある場合は、その部分を覆い隠してコピーする方法により写しを作成してください。(原本は、そのまま提出してください。)

未成熟子の養育費、財産分与や慰謝料を請求するときは、相手方に支払ってほしい金額を記入してください。金額がはっきりしないときは「相当額」を選択してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

※ 申立ての趣旨は、当てはまる番号(1又は2、付随申立てについては(1)~(7))を○で囲んでください。□の部分は、該当するものにチェックしてください。
☆ 付随申立ての(6)を選択したときは、年金分割のための情報通知書の写しをとり、別紙として添付してください(その写しも相手方に送付されます。)

申 立 て の 趣 旨	
円満調整	関係解消
※ 1 申立人と相手方間の婚姻関係を円満に調整する。 2 申立人と相手方間の内縁関係を円満に調整する。	※ ① 申立人と相手方は離婚する。 2 申立人と相手方は内縁関係を解消する。 (付随申立て) ① 未成年の子の親権者を次のように定める。 _____については父。 _____については母。 ② (□申立人/☑相手方)と未成年の子 さくら・隼 が面会交流する時期、方法などにつき定める。 ③ (□申立人/☑相手方)は、子 さくら・隼 の養育費として、1人当たり毎月(☑金 〇〇 円 / □相当額)を支払う。 ④ 相手方は、申立人に財産分与として、(□金 _____ 円 / ☑相当額)を支払う。 ⑤ 相手方は、申立人に慰謝料として、(☑金 〇〇 円 / □相当額)を支払う。 ⑥ 申立人と相手方との間の別紙年金分割のための情報通知書(☆)記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を、(☑0.5 / □(_____))と定める。 (7)

申 立 て の 理 由			
同居・別居の時期			
同居を始めた日…平成〇〇年〇月〇〇日	別居をした日…平成〇〇年〇月〇〇日		
昭和 令和	昭和 令和		
申 立 て の 動 機			
※当てはまる番号を○で囲み、そのうち最も重要と思うものに◎を付けてください。			
1 性格があわない	② 異性関係	3 暴力をふるう	4 酒を飲みすぎる
5 性的不調和	6 浪費する	7 病 気	
8 精神的に虐待する	⑨ 家族をすててかえりみない	10 家族と折合いが悪い	
11 同居に応じない	⑫ 生活費を渡さない	13 そ の 他	

夫婦 (2/2)

同居と別居を繰り返しているときは、一番最後の別居の日を記入してください。

夫婦が初めて同居をした日を記入してください。

按分割合(分割割合)を上限で定めることを求めるときは、「□0.5」を選択してください。それ未満の割合を定めることを求めるときは、「□()」を選択し、()に具体的な按分割合を記入してください。

申立書の写しは相手方に送付されますので、あらかじめご了承ください。裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。不明な点があれば、申立書を提出される裁判所にお問い合わせください。